

あなたの安心

「妊娠した時、最初に気づくのはどんなこと？」

6月、東京都内の高校での講演で、泌尿器科の岩室紳也医師(51)が問いかけた。1、2年生にマイクを向けると、「おなか

が痛くなる」「わかんない」「吐く」……。正解の「生理が止まる」が出てこない。岩室さんは「当たり前のごとくに」と

「経口避妊薬」、IUD(子宮避妊で最も確実な方法は性交

避妊の現実、正しい情報を

あなたの安心

もし、息子がアダルトビデオ(AV)を見たり、娘が性描写のあるコミックを読んだりしていたら……。

一橋大講師の村瀬幸浩さん(65)が今春出版したDVD付きの本「親子共学」(星雲社)の一場面だ。思春期の子どもに対して、親が性をどう伝えたいかを助言する。DVDでは、これをきっかけに「思春期に性

とだよ」と、父親が息子と、母親が娘と性について語り、理解を深めていく。

「性教育なんて必要ない」という意見もあるが、メディアに

子どもの性に向き合う④

内避妊器具)などがある。しかし、いずれも100%ではなく失敗率はまちまちだ。岩室医師は「私はコンドームを徹底的に教えた上で、セックスするか決めさせる。完璧にコンドームを使っても、破れることがあるよ、と」。

- ① 確実なのはセックスしない
- ② 期待ではなく経験を語る
- ③ 緊急避妊も知らせる

避妊法を始めて1年間の失敗率(妊娠率)

ピル	0.3%
コンドーム	2%
薬物添加IUD	0.1~0.6%
避妊せず	85%
緊急避妊	25%(1回)

(正しく続けて使用している場合。北村邦夫医師提供)

担当が軽いという。日本家族計画協会の緊急避妊ホットライン(03・3235・2638)、月00施設を紹介している。

子どもの性に向き合う②

はならんという情報は過激で、ゆがんで描かれていることも多い。村瀬さんは「今の子どもが受け取る情報は、親の時代とす

「性教育なんて必要ない」という意見もあるが、メディアに

避妊をどう教えたらいい?

- ① 確実なのはセックスしない
- ② 期待ではなく経験を語る
- ③ 緊急避妊も知らせる

避妊法を始めて1年間の失敗率(妊娠率)

ピル	0.3%
コンドーム	2%
薬物添加IUD	0.1~0.6%
避妊せず	85%
緊急避妊	25%(1回)

(正しく続けて使用している場合。北村邦夫医師提供)

ただ、緊急避妊は通常の避妊とは別に考えたほうがいい。服用しても失敗率が25%と高く、費用もその都度かかる。緊急避妊をした後、効果がより確実で副作用が少ない低用量ピルを服用し始める女性も多いそうだ。

「緊急避妊を知らないのは愚か、知らせないのは罪です」と話す。ピルの服用に抵抗感がある人も多い現状だが、「いざと言うときに望まない妊娠を避ける手段として知っておいてほしい」。

★意見・体験は、メール seikatsu@asahi.com

は「良くない」とその場で指摘することをすすめる。

トラブルに巻き込まれる子どももいる。藤川さんは「夏休み前

使用方の約束を」と助言する。例えば、携帯電話を買い与えるなら充電器を居間に置いて、親の目が届くようにしておく。

「性教育なんて必要ない」という意見もあるが、メディアに

性の情報 どう対処 ?

- ① 親がまず正しい知識を
- ② ゆがんだ性情報は訂正
- ③ 携帯電話の使い方を約束

思春期の性の悩みは

●日本家族計画協会「思春期-FPホットライン」(03・3235・2638、月~金曜日の午前10時~午後4時)

相談の多い内容

男子は包茎、マスターベーション、性器の大きさ、女子は避妊、月経、妊娠

●岩室紳也医師のホームページ (http://homepage2.nifty.com/iwamuro/) には若者向けの「紳也'sネット塾 まじめに性を考える講座」がある

The Asahi Shimbun

The Asahi Shimbun

「見せる性」現実とは違う

★意見・体験は、メール seikatsu@asahi.com

あなたの安心

若者の間で、性感染症が増えている。女性は婦人科、男性は泌尿器科で検査と治療ができるが、10代は「健康保険証を使うと親に知られる」と避ける子ども多い。性器クラミジアや淋病など症状が分かりにくい病気もあり、気づかずに感染が広がる危険性が高い。

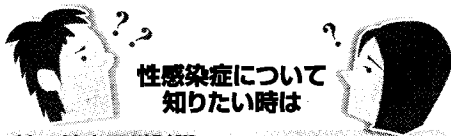
「手遅れになると時間とお金がかかる。親は子どもの変化にもっと気を配って」
 子どもは「親は『どうしたの？』と話を聞くこと。頭ごなしに怒るのは厳禁です」。きつかけがなければ、見えるところにコンドームを出しておき、子どもからの相談を引き出す手もある。赤枝医師は「親は『うちの子に限って』と言いはかりで行動し

子どもの性に向き合う⑥

ない。これでは子どもの体は守れない」と、予防と早めの治療を知らせる大切さを強調する。セックスについて話しにくければ、「感染症にかかりにくい体」をつくる情報を教えることも有効だという。性器を不潔にせず、過度なダイエツトは避けること。女性は膣の中を洗うと自浄作用が失われてしまう。小さな頃から排便の後には前から後ろにふく癖をつける。大腸菌が膣に入ると炎症を起こすことがあるからだ。

性感染症の現状は？

- ① 10代は検査に行きにくい
- ② 将来不妊の原因にも
- ③ HIVの感染率も上昇



性感染症について
知りたい時は

性の健康医学財団

電話相談

(03-5840-8665、月～金曜日の正午～午後5時)

若者のための情報ネット「Hの病気」

(<http://plaza.umin.ac.jp/std-com/>)

日本家族計画協会

「ガールズナビ」

(<http://girlsnavi.jp/index.html>)

The Asahi Shimbun

アが特に10代女性に急増しており、医師らは「将来の不妊につながる恐れがある」と注意を呼びかけている。また、性感染症になると、感染していない場合よりHIV（エイズウイルス）

の感染率が数倍高くなるという。HIVの検査は各地の保健所で受けられる。匿名で無料だ。

泌尿器科の岩室紳也医師(51)が診察している80人のHIV患者のうち、75人がセックスで感染した。コンドームが1回だけ破れたことで感染した人もいるという。「愛で感染は防げない。子どもの性の実態を理解した上で、親は自分ができることを考えて」(見市紀世子)

「来週は「緊急点検 地震の備え」です。

性感染症の危険、10代にも

★(意見・体験は、メール seikatsu@asahi.com)

産婦人科の赤枝恒雄医師(68)の診療所には、悪化してから診察に訪れる若者も珍しくなく。